

安全への取り組みについて

本市の運営する沖の島～片島航路は、離島住民や観光客の交通手段としてだけでなく、生活必需品や新聞、郵便物なども当該航路で輸送しており、沖の島・鵜来島地区住民の生活を支えるための必要不可欠な航路です。そのような中で、安全運航はすべてにおいて優先するものと考え、安全管理規程を遵守し、船員の体調管理も含めて船舶が無事に航行できるために、全力で日々取り組んでいます。

宿 毛 市

安全方針 安全第一

安全重点施策 旅客の安全確保と作業の安全確認を徹底し、事故発生をゼロにする

安全の取り組み 使用船舶：おきのしま（総トン数 84トン、旅客定員 71名）

①運航の基準について

船長は、適宜運航の可否判断を行い、気象・海象が一定の条件に達したと認めるとき又は達する恐れがあると認めるときは、運航中止（欠航・抜港など）の措置を取ります。

風速 16m/s 以上、波高 3m 以上、視界 500m 以下

②安全設備について

船舶は法令に従い、管轄官庁による定期的な検査を受け適正な整備を保持し、日々点検整備を行っています。緊急時の避難設備については、小人・幼児を含んだ最大搭載人員に対応する十分な救命胴衣並びに救命浮器を装備しています。

救命胴衣：大人用 70着、小人用 8着、幼児用 2着、特大 1着
その他：救命浮器 2個(34人乗、55人乗)、救命浮環 2個

③緊急時の通信手段について

携帯電話（航行区域は全域が船舶で使用する携帯エリア(海上エリア)内です）

④船客傷害賠償責任保険について

1人あたり上限1億円、総額70億円(毎年更新)

⑤船舶検査の受検について

毎年4月に受検

⑥飲酒運転撲滅への取り組み

乗組員は運航前(日に2回)にアルコールチェッカーによる呼気確認を実施